

ゲンティン・シンガポール (GENS)

カジノ事業・非カジノ事業ともに順調に拡大、「リゾート・ワールド・セントリーサ」への投資が今後の鍵を握る。

シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績レビュー

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2018/12 通期は、売上高が前年同期比 6.1%増の 25.39 億 SGD、営業利益が同 9.3%増の 9.75 億 SGD、純利益が同 10.2%増の 7.55 億 SGD と増収増益になった。
- 主力のカジノ事業の売上高は同 5.7%増、ホテルやレジャー施設などの非カジノ事業の売上高も同 7.0%増と順調に業績が拡大した。
- アジア太平洋トップ・リゾートの地位を確固たるものとするために統合リゾート「リゾート・ワールド・セントリーサ」に経営資源を集中投資し、フィリピン他の競争相手に打ち勝つことが当面の課題。

What is the news ?

2/21 発表の 2018/12 通期 (1-12 月) は、売上高が前年同期比 6.1%増の 25.39 億 SGD、営業利益が同 9.3%増の 9.75 億 SGD、純利益が同 10.2%増の 7.55 億 SGD、調整後 EBITDA は同 6.8%増の 12.30 億 SGD。生産性向上への注力が奏功した。前期における韓国の「統合リゾート」(IR)への持ち分売却の際の一時的な利益 9,630 万 SGD を除けば、純利益は実質的に同 28%増の成長だった。経済の先行きへの懸念や競争激化にもかかわらず、カジノ事業・非カジノ事業とも、順調に業績が拡大した。「地域プレミアム・マス層」へのマーケティングが好結果を生み出した。更に、大きなイベントや画期的な催し物などの実施が奏功して訪問視察の団体客や 1 人当りの支出が増加、非カジノ事業の業績拡大に寄与。

セグメント別の業績は以下の通り。カジノ事業の売上高が同 5.7%増の 16.79 億 SGD、非カジノ事業の売上高が同 7.0%増の 8.58 億 SGD。「ユニバーサルスタジオ・シンガポール」でのエキサイティングな催し物、Netflix 社と提携しての人気コンテンツの開発、水族館の新規導入などの実績により、権威ある TIG のトラベル・アワードで、8 年連続でアジアのベスト IR の栄誉を得ることに繋がった。

How do we view this ?

会社見通しでは、2019 年は不透明な経済環境と地政学的な摩擦がアジアのカジノ業界と観光市場の成長の妨げとなることを懸念しているが、ビジネスを展開する市場にフォーカスした戦略を展開、IR の「リゾート・ワールド・セントリーサ」の計画と再投資に経営資源を注ぎ込み、アジア太平洋のトップ・リゾートの地位を確固たるものとする方針。日本で新たに導入される見通しである IR に関する参入機会についても、2019 年後半に IR の設計や企画への入札手続きに参加できると期待している。フィリピンなど他のアセアン諸国も IR に注力しており、激しさを増す競争に打ち勝つマーケティング戦略が求められるところである。2019/12 通期市場予想は、売上高が前期比 2.1%増の 25.94 億 SGD、営業利益が同 5.3%増の 9.57 億 SGD、当期利益が同 2.7%増の 7.76 億 SGD である。

業績推移

※参考レート 1SGD=81.24円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万THB)	2,228	2,393	2,539	2,594	2,673
純利益(百万SGD)	385	686	755	776	811
EPS(SGD)	0.02	0.05	0.06	0.06	0.06
PER (倍)	51.50	20.60	17.17	16.09	17.17
BPS(SGD)	0.60	0.62	0.65	0.68	0.70
PBR (倍)	1.72	1.66	1.58	1.51	1.47
配当(SGD)	0.03	0.04	0.02	0.04	0.04
配当利回り (%)	2.91	3.88	1.94	3.88	3.88

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

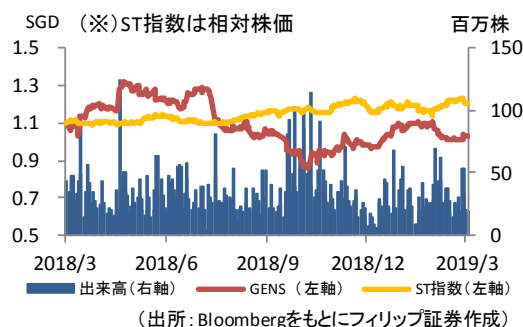
配当予想 (SGD) **0.04** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **1.03** 2019/3/22

会社概要

同社はグレートブリテン島とアイルランド島に囲まれたアイルランド海に位置するマン島に1984年に設立された。その後、1987年にイギリスの会社法およびイギリス連邦の一部、アイルランドにおける会社形態の一種である公開有限会社となり、2005年にシンガポール取引所に上場。30年を超える歴史を有するカジノ、総合リゾートの開発会社。リゾート開発およびカジノ経営をオーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国にて手掛ける。2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトピカルリゾートとして開発された「リゾート・ワールド・セントリーサ」は、ユニバーサル・スタジオをはじめとする世界屈指のエンタテインメント施設であり、東南アジアで最大クラスの総合リゾートである。シンガポール初となるカジノ、6つのホテル、水族館、博物館といった様々なリゾート要素が一堂に集まる。

企業データ (2019/3/25)

ベータ値	1.29
時価総額(百万SGD)	12,286
企業価値=EV(百万SGD)	9,110
3か月平均売買代金(百万SGD)	37.4



主要株主 (2019/3)

1.ゲンティン	(%) 52.75
2.Vanguard Group Inc	1.34
3.ブラックロック	1.29

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980
 増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

ゲンティン・シンガポール(GENS)

2019年3月25日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>